

本校2年生のSSH(スーパーサイエンスハイスクール)クラスの生徒たちは、台湾の台北市松山高級中学(Taipei Municipal Song Shan Senior High School)との第二回オンライン交流会を行いました。



◆12月22日(木)～23日(金)

80名弱の2年A組、B組の生徒は、それぞれ割り当てられたbuddy(パートナー)と、10月に引き続き、2回目のGoogle Meetを用いたオンライン通話を約30分間楽しみました。日頃から磨いてきた持ち前の英語力を駆使して、軽い挨拶ののち、お互いが学校で課題研究してきた内容を、パワーポイントの全画面プレゼンテーション機能等を使って、スライドショー形式で、英語で発表し合いました。発表の後は、お互いの研究内容について質問をしました。そのあとは、自由に時間内で会話を楽しみました。

当日は、おおむね生徒たちはスムーズにビデオ通話していましたが、中には、相手の言っている声が聞こえない、あるいは、こちらの声が台湾のほうで聞こえないなどのトラブルがありました。生徒の中には、自分の言いたいことがすぐに出てこなかったり、電子辞書を使って英単語を調べながら交流していました。

実施後のアンケートでは、回答した生徒の約75%が楽しかった、まあまあ楽しかったと回答し、前回より15ポイント以上伸びました。また、回答した生徒の86%がもう一度オンライン交流を行いたい、もう一度やってもいいと回答し、これも前回より10ポイント以上増加しました。

なお、10月の交流の時のネットワーク環境が遅かったという声が聞かれたため、今回は、使用するwi-fi接続機器を大幅に増やして臨みましたが、それでもネット環境が遅かったという生徒もいました。

【生徒たちのアンケート結果の一部】

・相手の英語が聞き取れなくて、英語は読んで書くだけでなく話して聞くことの重要性を感じました。(なんなら将来はそっちの能力の方が重宝されるのではないかと思います。)でも英語でやり取りできて楽しかったです。

・課題研究の事については自分が思っていたよりも英語で話せたのが嬉しかった。英語じゃないと伝わらないという状況ではとっさに単語が出てくるのがびっくりしました。

・話した英語はカタコトだったが、相手が親身になって聞いてくれて、ちゃんと通じたので楽しかったし、友達が増えたので嬉しいと感じた。

・台湾の人の研究を見たり、今回1対1ということもあって台湾の人とより仲が深まったと思うし、相手の国の事をさらに知ることができました!

・相手の英語は概ね聞き取ることができたが自分の考えていることをすぐに英語で表現することがあまりできなかったのも、日々の英語学習をより充実させる必要があると感じた。

・交流する前は英語で話せる気がしなかったが、実際話してみるとなんとかなるものだと分かった。

・Buddyはメールの時点から英語に使い慣れている感があって、すごいなって思いました。刺激がたくさんで、本当に楽しかったです。前回よりも、今回の方がたくさん話せて、相手のこともよくしれて楽しかったです!雑談の時間が一番楽しかったです。上手く相手に伝えるために、お互い試行錯誤してやりました。(スマホで写真を送ったりした。)



オンライン交流の様子

